

令和7年度第1回あきる野市健康づくり推進協議会 報告（概要）

日 時 令和7年7月15日（火）
午後7時00分～
会 場 市役所5階503・504会議室
及びweb

1 開 会

○事務局説明事項

- ・推進協議会設置要綱第9条第3項の規定により本協議会が成立していることを報告した。
- ・委員改選後初めての会議。委嘱書交付は、先の送付をもって変えさせていただくこと、任期は令和9年3月31日までの2年間であることを説明した。

2 挨 捶

○健康課長

3 自己紹介

○参加委員20人の自己紹介及び事務局の職員紹介

4 正副会長の選出

○あきる野市健康づくり推進協議会設置要綱第7条第2項の規定により、会長、副会長を選出

5 正副会長挨拶

○会長、副会長より挨拶

6 報 告

○包括的な支援体制の整備について

事務局報告

7 議題

○あきる野市健康づくり推進協議会設置要綱第9条第2項の規定により会長による議事の進行

（1）あきる野市健康増進計画（めざせ健康あきる野21（第二次））について <資料1>

事務局説明（福祉総務課保健福祉支援係）

以下のとおりご意見等いただいた。

意見等 あきる野市健康づくり市民推進委員会は、年間を通じて市民の健康に役立つ活動を行っているが、参加者が固定化しており新規参加者が少ないため、参加者を増やしたいと考えている。

意見等 めさせ健康あきる野21ウォーキング班で約20年ほど活動しています。コロナ前は毎月21日に定例で歩いていました。コロナで中断したものの、現在は募集人数を設け再開しています。和気あいあいとした中で、参加された方は来てよかったですと喜んでいます。

(2) 令和7年度の事業について <資料2-1、2-2、2-3> 事務局説明
以下のとおりご質問、ご意見等いただいた。

質問 市民による具体的な活動が、地域共生社会の形成にどのように貢献し実績につながっているのか。この、人と人とのつながりが自殺対策、災害支援、母子保健の産後ケア事業では重要なと考えているため、健康増進計画でどの程度醸成されてきているか、実感や具体例を教えてほしい。

回答 推進委員や市民ボランティアの地域活動、市内50か所を拠点としたイキイキ事業などの活動の場が人と人とのつながりに貢献している。また、妊娠届を契機に母親・両親学級、グループワーク等で参加者同士が地域で結び合えるよう事業展開している。さらに民生児童委員や地域の関係者が、支援が必要と考えた家庭を行政に連絡するなど、地域の見守り・支援網を構築している。(健康づくり係、母子保健係)

意見等 イキイキ事業は、推進委員や健康課が主体となり実施している。参加者はそれを楽しみ、住民同士の横のつながりや会話、ものづくりなどの交流も生まれている。

質問 あきる野育児相談ではなく、秋川育児相談という名称にした理由を教えてほしい。歴史的理由や特別な概念などあるのでしょうか。

回答 育児相談は月2回実施し、1回は五日市保健センターで五日市育児相談、もう1回はあきる野保健相談所で秋川育児相談として実施している。名称は区別のため、特別な歴史的理由はありません。(母子保健係)

意見等 当市の歯周病検診は受診率が比較的高い状況に加え、20歳30歳の受診年齢の追加について感謝しているところだが、生涯を通じた切れ目ない検診の方針に対して、検診は70歳で終了している。80歳代、90歳代の元気な高齢者が多い実情を踏まえ、80歳以上の検診も拡充してほしい

回答 健康増進法では検診の対象は70歳までとなっており、70歳以上の方については近隣の状況を確認しながら対応を検討していく予定。(健康づくり係)

(3) あきる野市市制施行30周年記念 第28回あきる野市健康のつどいについて <資料3> 事務局説明

あきる野市健康づくり市民推進委員会副会長より挨拶があった。
ご質問、ご意見なし

8 その他

○事務局から2点連絡

- ・8月開催の第20回あきる野夏まつり及び11月開催の産業祭にて、あきる野市健康づくり

推進協議会の名称で、めざせ健康あきる野21の周知啓発活動実施する。また、活動メンバーを募集する講座の修了書を協議会長名で発行する予定

- ・第三次あきる野市健康増進計画準備のため、令和8年度の本協議会会議回数を、1回または2回増やす予定

○委員から質問

質問 地域の資料を確認すると、西多摩地区は人口動態統計で循環器疾患による死亡が多いことが分かった。高血圧が主要なリスクになっていると聞いているため、会議出席の医師の方々からの現場感や気づきを伺いたい。また、事務局でも重点健康相談に高血圧を含めているため、分かる範囲で情報提供いただきたい。

回答 当クリニックでは、健康診断のみで受診する人が一定数おり、普段通院していない人に高血圧が多い。健診で治療を勧めても治療を受けず、毎年同じ指摘が繰り返されるケースがある。こうした人を治療に導くのは難しいと感じている。(医師)

回答 市の高血圧対策は、健康相談をはじめ高血圧をテーマした教室の開催、汁物の塩分濃度測定、塩ひとつまみ体験、減塩・適塩の情報提供を実施。令和6年度には専門医を講師に迎え、研修を実施した。(健康づくり係)

意見 これまで薬を飲んだことがなかったが、市の年1回の検診で血圧が高いと指摘され、降圧薬を服用しはじめた。

9 閉会

○次回の会議は令和8年2月頃を予定している。日程が決まり次第各委員へ連絡する。会議報告は、後日送付するほか、市ホームページに公開する。

○副会長より閉会の挨拶

以上